

九条塔南だより

令和5年2月24日

京都市立九条塔南小学校
校長 岡本 圭司



学校
教育目標

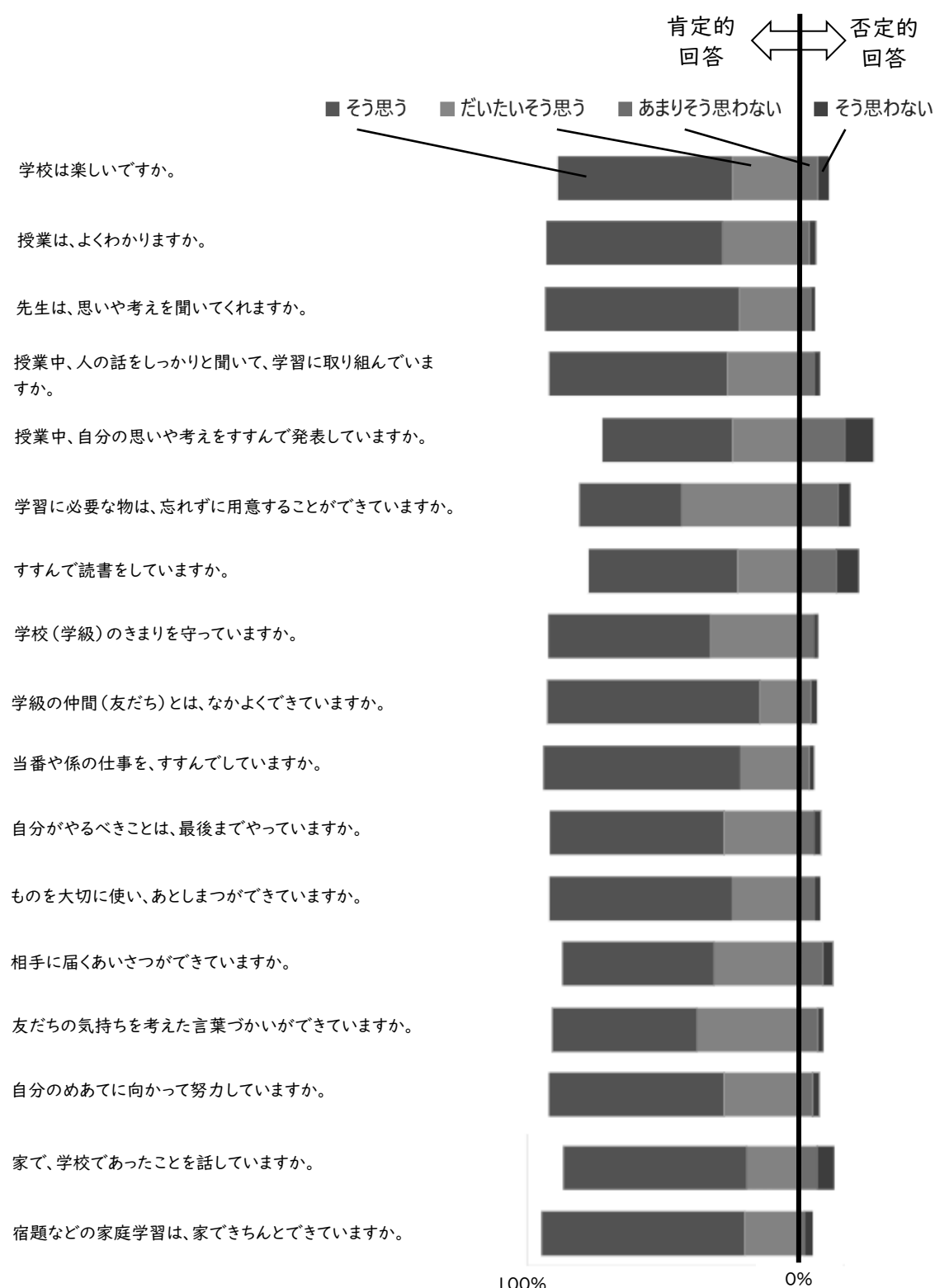
心豊かにたくましく 夢や希望に向かう子どもの育成
～つながろう つなげよう 九条塔南の子～

後期学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。



12月に実施しました、「学校評価アンケート」にご協力をいただきありがとうございました。集計の結果をお知らせします。
学校評価は、学校家庭が相互に高め合い、よりよい学校づくりを目的として行っています。今年度は、学校教育目標の達成を目指し、「つながるための『柔軟性』『社会性』」「つながりを広げる『課題発見力』『実行力』」「つながりを広げるための『主体性』」の5つの力の育成をめざし、教育活動に取り組んでいます。児童・保護者へのアンケート結果をまとめましたのでご報告いたします。

学校評価集計結果【児童へのアンケート】 令和4年12月 オンライン回答 (Microsoft Forms) 形式にて実施

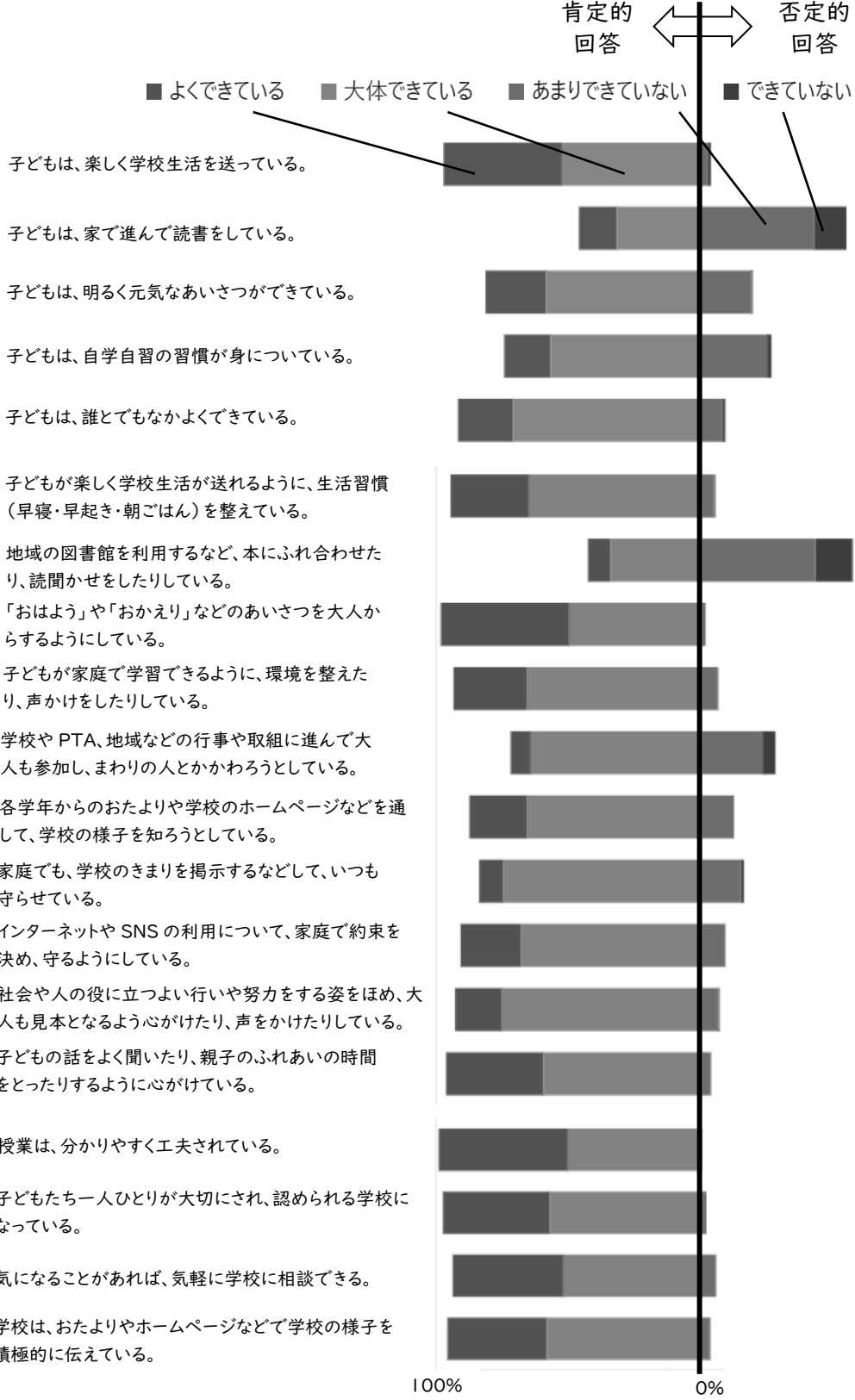


考察

【児童へのアンケートについて】

- ・前期と同様、「授業はよくわかる」「人の話をしっかりと聞き、学習に取り組んでいる」「宿題などの家庭学習は、家できちんとしてできている」の項目について、9割以上の肯定的な意見が出ています。一方で、「自分の思いや考えをすすんで発表している」かについては肯定的な回答がやや低く、本校の課題の一つであると捉えることができます。授業の中で学習内容をしっかりと理解し、家庭学習の中で学びの習慣化を図ることで、基礎基本の力は高まっていきます。また、学びあいや教えあいにより、知識が確固たるものとなったり、知識を生かして課題を解決していく力にもつながります。GIGA 端末など、さまざまな ICT 機器も活用しながら、思いや考えを発表していく力を磨いていきたいと思います。
- ・「学習に必要な物は、忘れずに用意することができている」と回答した児童の割合が、前期よりもやや低下しています。月日が進む中で、緊張感が緩んでしまい、忘れ物が増えてしまっていることもあるのではと思います。必要な物が使えない困りから、学習意欲の低下にもつながるとも考えられます。子どもたちが困りを抱えないよう支援していくとともに、自分で準備をし、学習環境を整えていく力を身に付けていけるよう、学校全体で指導をしていきたいと思います。ぜひご家庭でも、家庭学習や準備物等につきまして、お声掛けをしていただけるとありがたいです。

学校評価集計結果【保護者へのアンケート】 令和4年12月 オンライン回答 (Microsoft Forms) 形式にて実施



今回のアンケート回答率は約60%でした。保護者の皆様からより多くのご意見をいただき、学校運営に生かしてまいりたいと思いますので、今後もオンライン形式での実施となりますが、ご協力をお願いします。



考察 【保護者へのアンケートについて】

- ・あいさつにかかわる項目についての肯定的回答が、前期よりも増加しました。ご家庭でも子どもたちに意識的に声掛けをしてくださっていることが、子どもたちの行動にもつながっていると考えられます。本校では、キーワードとして5つの「あ」（あいさつ・あんぜん・あとかたづけ・ありがとう・あったかく）を設定しています。あいさつをはじめとして、人と言葉を交わし、あたたかな気持ちを伝えあうことで、より強い「つながり」が生まれ、深い人間関係が形成されます。人やモノ、地域との『つながり』を大切にし、自己肯定感を高める取組を継続していきたいと思います。
- ・インターネットや SNS の利用について、家庭での約束を決め、守るようにしているという回答が前回よりも増加し、9割を超えています。子どもたちがインターネットや SNS を使用する機会が増え、その使用方法などに気を付けていただいている家庭が多いことが見て取れます。一方で、インターネットや SNS に関するトラブルは、京都市全体でも増加の傾向が見られます。簡単に記事や写真・動画を発信したりできる分、その先に起きるであろう問題に気づかずにトラブルが起きることが多いように思います。写真や動画を気軽に投稿したり、情報を安易に広めたりする前に、「その情報が正しいと言えるのか」「その投稿によって傷つく人がいないのか」など、一つ先を考え、情報を読み解いたり、発信したりする「メディア・リテラシー」の力を身に付けていけるよう、今後も指導を続けていきます。
- ・スポーツフェスティバルや参観・懇談など、感染症対策を取りながらも、保護者の方にご参加いただける場が増えてきました。自由記述欄からも、子どもたちが実際に学んでいる様子や、取組の成果などを見ることができてよかったと肯定的にとらえてくださっているご意見を多くいただきました。新型コロナウイルスに加え、インフルエンザも流行する季節となりますが、これまで同様、感染症対策を十分に取りながらも、子どもたちの力を伸ばす学習を継続していけるよう、取組を進めてまいります。

学校関係者による評価

- ・感染症対策を図りながら、行事等で子どもたちの学ぶ姿や成長を見ることができるよう、積極的に取り組んでもらっている様子がよくわかる。
- ・家庭で親子の会話が減り、インターネットや SNS の利用が増えていることや、利用の低年齢化に危惧している。学校だけではなく、家庭での声かけの必要性を発信し続けていってほしい。
- ・きらきら集会などの行事や、様々な取組の中で学習したことをいかして、思いや考えを発表する力を身に付けていってほしい。
- ・地域の活動については、来年度見直しを図っていききたい。学校とも協力しながら、子どもたちの育ちを見守っていききたい。
- ・PC に頼らない、対面方式などの教育も必要だと思う。個人の体験や経験も子どもの育ちには大切だと思う。